

本業支援でお客様の課題解決をサポート

宮城県角田市に本社を構える株式会社一條様は、昭和42年、鶏卵卸売業を中心に設立。その後、平成13年から自慢の「蔵王地養卵」と「めぶき卵」を使ったお菓子の製造販売、飲食業に本格的に進出し、現在、「森の芽ぶき たまご舎」の店舗名で多数の店舗を展開しています。

同社の一條憲一社長は、「たまご舎」のブランドの浸透とともにお菓子の需要が増加したことから、蔵王本店に併設された工場のみでの生産には限界を感じ、生産設備の拡充が必要との悩みを抱えていました。

長年に渡り当行とお取引をいただいている同社の悩みを解決することは、歴代の当行担当者の課題でもあり、大きな目標となっていました。

当行は、日頃から同社のニーズを聴取し、様々な情報提供を行っていましたが、課題解決に向けて大きく動き出したのは、村田町の支援・協力を受け、土地の取得が可能となった時でした。この「村田店舗・工場新築計画」が、同社設備面の経営課題解決を可能とするものであるとともに、道の駅や歴史みらい館、城山公園など、隣接する観光スポットとの相乗効果により、村田町の地域活性化にもつながる取り組みであることから、当行は同社計画に賛同し、本部との連携により同社の計画実現に向けた支援を開始しました。

当行では、まず、土地取得から店舗・工場の新築オープンまでの資金繰りのプロデュースに取り組みました。一條社長からは、「店舗デザイン、人員確保など様々なことを決めていかなければならないなかで、初めにメイン銀行として支援を決めていただき、非常に感謝している」とのお言葉をいただきました。また、その後も町からの助成に係るアドバイス、設備等に係るリースの斡旋、保険等に係る紹介など様々な支援をさせていただきました。

平成28年7月23日、念願の店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎 ファームファクトリー」がオープン。広大な駐車場を完備した店舗には、美味しいお菓子を求めて多くのお客さまが来店されています。

私は、今後もお客さまの声に耳を傾け、「本気の本業支援」を通じて、地域の発展に貢献していきたいと考えています。



プロフィール

仙台銀行 角田支店
木村 慶紀 主任
渉外担当



土日は、「イクメン」だけではなく、「カジメン」にも変身中!



新店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎 ファームファクトリー」

VOICE 喜びの声



株式会社一條 森の芽ぶき たまご舎
代表取締役社長 一條 憲一 様

弊社は創業以来、「蔵王地養卵」と「めぶき卵」という安全で美味しい卵を提供し、時代の流れと共に、今でいうところの6次産業化を先取りし、かたちを変え発展を続けております。

仙台銀行との取引は古く、旧行名の振興相互銀行時代からになります。いつも身近にある銀行として相談しやすく、今回の店舗兼工場の新築に関しても親身になって相談に乗ってもらい、支援していただきました。また、資金面に限らず、様々な情報を提供していただくなど、長年の課題解決の一助となっていました。

今後も、地域に根ざした店舗・商品作りに取り組みながら、ともに成長していきたいと考えております。引き続き、アドバイスやサポートをよろしく願います。